継1 ~多文化共生社会の構築を推進する事業~

1. 多文化共生社会づくり推進事業

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

① 多文化共生オフィス運営事業

· 多言語相談窓口運営

多文化共生オフィスにおいて、次のとおり多言語での相談及び法律や出入国に関する相談業務を実施しました。また、外国籍児童とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 5,867件

多文化共生オフィスオープン時間 9:00~20:00 (国際交流会館2F交流ラウンジ内)

●日本語、英語、中国語	随時	9:00 ~ 20:00
●中国に関する相談	毎週火曜日	$13:00 \sim 17:00$
●ドイツに関する相談 *	毎週水曜日	$13:00 \sim 17:00$
●韓国に関する相談 *	毎週木曜日	$13:00 \sim 17:00$
●力ナダに関する相談 * (7月まで)	毎週金曜日	13:00 ~ 17:00
アメリカに関する相談 * (8月から)	毎週金曜日	13:00 ~ 17:00
●タガログ語相談	第2水曜日	$13:00 \sim 17:00$
●スペイン語相談	第1金曜日	13:00 ~ 17:00
●韓国人のための生活相談	第4水・木曜日	13:00 ~ 17:00
●中国人のための生活相談 毎週	水・金・日曜日	13:00 ~ 18:00
●出入国管理法及び難民認定法に関する権	13:00 ~ 15:00	
●外国人のための無料法律相談 **	第3土曜日	14:00 ~ 16:00

- * 熊本市国際交流員相談
- ** 前日の午前中までの予約が必要
- ・市政だよりの多言語化

情報(語学)ボランティア登録者の協力を得て、毎月、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を多言語(英語、中国語、韓国語)に翻訳しホームページ上へ掲載しました。



★KIFニュース

KIFの主催するセミナー・交流会・講座の他、民間国際交流・協力団体が実施する催し物情報を、毎週1回、メールマガジンとしてインターネットで配信しました。

(ホームページ上で登録可能)

KIFニュース登録者数:505人

・あんしん・あんぜん・生活情報 eメールマガジン 災害メールを登録者へ、英語、中国語、やさしいにほんごで、生活での情報やイベント案内を携帯メールで配信しました。毎月10日配信

登録者 377人(内訳:英語 215人、中国語 61人、日本語 101人)

★在住外国人の状況把握(年度内3回更新)

在住外国人の住民データを、学校区(避難所地区)ごとに整理し、災害時対応に備えました。

② 多文化共生月間事業

・多文化共生写真展「熊本の外国人コミュニティー」

期 間:平成29年2月6日(月)~ 2月28日(火)

場 所:国際交流会館1Fエントランスホール

内 容: 平成28年4月の熊本地震の際、被災者でありながらも多くの市民と協力して 様々な支援活動等を行った在住外国人コミュニティーを紹介するパネル展を開催 しました。併せてKIFの多文化共生の取り組みや日本語教育の取組、熊本市の在 住外国人の現状及び在留資格等の資料展示、在住外国人の日本文化体験(書道) 作品展示も行いました。

紹介コミュニティー: 九州地区中国学友会熊本地区分会、熊本イスラミックセンター、熊本 外国人と日本人妻の会、熊本大学留学生会(KUMISA)、ネパール人 コミュニティ、火の国華友会、朋友子ども中国語教室

・多文化共生セミナー ~やさしい日本語ってなんだ?~

今後地域社会と在住外国人をつなぐツールとして重要となる「やさしい日本語」を 熊本地震の事例や外国人コミュニティーメンバーの意見等から学び、考える多文化共 生セミナーを開催しました。

日 時:平成29年2月25日(土) 13:30~16:30

場 所:国際交流会館6Fホール

参加人数:62人《事例発表①》

「熊本地震での外国人の課題」

上田 真実 (KIFスタッフ)

《事例発表②》

「熊本地震から考えるやさしい日本語の必要性」

藤井 美香氏(公益財団法人横浜市国際交流協会)

《パネルディスカッション》

「どんな日本語がわかりやすい?」

(パネリスト)

ハリープラサデウーデブコタ氏(熊本大学特任助教授)

照喜名 桂芬氏(地域日本語教室参加者)

道本 ゆう子氏(文化庁日本語教育スタートアッププログラム熊本案件コー ディネーター)

(コメンテーター)

藤井 美香氏、上田 真実





③ 地域サポート事業

・多文化共生地域サポート活動

各区役所保健子ども課の依頼に応じ、在住外国人家庭への「赤ちゃん訪問」事業へ同行し、多言語・文化通訳支援を行いました。加えて、異国での子育てによるストレスや不安に対してのアドバイスや子供の成長に合わせた教育等のサポートを行うとともに、生活全般の情報提供を行いました。

また、外国人の個々の課題に応じ、その問題解決までを、関係団体との協力のもと 実施しました。教育機関等からの要請に基づき、学校に通う外国ルーツの子どもたち の保護者に対し、教育の仕組み、学校での基本的な生活や年間行事等について説明し ました。

分野国籍	赤ちゃん 訪問	就労	幼児保 育	教育	DV	医療 保健	その他	計
アジア	7	1	1	6	2		2	19
中東	1		4			2		7
アフリカ	2							2
大洋州	1							1
<u>=</u> +	11	1	5	6	2	2	2	29

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

「メディカルサポート熊本」と協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了した通訳ボランティアを提携する医療機関へ派遣しました。また、提携外医療機関からの要請に対しては、ボランティアの状況や派遣までのシステム等医療機関側に理解していただき派遣を行いました。

平成29年3月現在の提携医療機関は、国立病院機構熊本医療センター、熊本大学付属 病院、熊本市民病院、福田病院。

派遣件数:29件(提携外医療機関からの依頼 3件を含む)

(2) 日本語支援事業

① くらしのにほんごくらぶ

在住外国人が熊本で生活する上で必要な日本語をマスターし、地域社会の生活に早く順応できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「くらしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートするボランティアと、一対一を基本として学習を行うと共に、日本文化体験や交流会などを実施しました。

活動日: 火曜日10:00~12:00

水曜日10:00~12:00, 14:00~16:00,

18:30~20:00

日曜日10:00~12:00, 14:00~16:00

学習者数:延べ2,956人

ボランティア数:延べ3,082人

場 所:国際交流会館 2Fミーティングルーム、

2F交流ラウンジ



文化体験・交流会(対象:学習者及びボランティア)

●月見団子づくり

日 時:平成28年9月14日(水) 13:00~/18:30~

場 所:国際交流会館 4F第3会議室

参加人数:50人

●年末交流会

日 時:平成28年12月18日(日)10:00~15:30

場 所:国際交流会館 4F第3会議室

参加人数:約100人 ●茶道体験(初茶会)

日 時: 平成29年1月8日(日) 10:00~16:00

場 所:国際交流会館 5 F 茶道室

参加人数:53人

●書道体験(書き初め)

日 時:平成29年1月18日(水)12:30~/13:30~

場所:国際交流会館 B2F多目的ルーム 講師:KIFサポートセンターボランティア

参加人数:6人

●お花見交流会

日 時:平成29年3月26日(日)、29日(水) 場 所:国際交流会館内で開催(雨天のため)

参加人数:約100人





② 初級日本語集中講座

正式に日本語を学習したことがない在住外国人に対して、日本語教授法の資格を持つ講師による日本語の基礎を学ぶ短期集中型(5日間)の日本語講座を実施しました。

期 間:1) 平成28年5月25日(水)~30日(月)(5月28日は休み)受講者:4人

2) 平成28年7月27日 (水) ~8月1日 (月) (7月30日は休み) 受講者: 6人

3) 平成28年9月13日(火)~17日(土) 受講者: 3人

4) 平成28年11月7日(月)~12日(土)(11月10日は休み) 受講者:5人

5) 平成29年3月8日(水)~12日(日) 受講者:6人

受講者数(年間):24人

講師:日本語教授法有資格者(外国ルーツの子ども支援ネット、大学講師など)

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

生活日本語支援ボランティアの資質向上を目的に、日本語の教え方、教材の使い方などの研修会を実施しました。

日 時:1) 平成28年7月17日(日)12:30~13:30 参加人数:22人

2) 平成28年9月25日(日) 12:30~13:30 参加人数:21人

3) 平成28年10月4日(火) 12:30~13:30 参加人数:7人

4) 平成28年10月9日(日) 12:30~13:30 参加人数:22人

5) 平成29年2月11日(土) 13:30~16:30 参加人数:23人

場 所:国際交流会館 2Fミーティングルームなど

講師:日本語教授法有資格者(外国ルーツの子ども支援ネット、大学講師など)

④ 地域日本語教室 武蔵ヶ丘・健軍教室

在住外国人の日本語学習ニーズの高い地域で生活に必要な日本語の学習機会の提供と、外国人・日本人住民との交流を促進することを目的とした地域日本語教室を実施しました。

〈健軍教室〉

開催日: 毎月第1,3,4火曜日10:00~11:30

場所:よって館ね(健軍商店街ピアクレス内)

※地震の影響で会場が使えなくなり、7月~9月は健軍文化ホールを借りて実施。

協力者:生活日本語支援ボランティア

学習者:延べ52人(ボランティア数 延べ30人)

参加費:無料

〈武蔵ケ丘教室〉

開催日:毎週火曜日 10:00~11:30

場 所:よりみち(武蔵丘団地内)4月、5月開催

※6月より菊陽町光の森町民センター

キャロッピアにて開催。

協力者:生活日本語支援ボランティア

学習者:延べ231人(ボランティア数 延べ163人)

参加費:300円(会場使用料。学習者の代表者が管理。)



⑤ 日本語教育スタートアッププログラム

熊本地震で一時閉鎖となった東区建軍教室の再開を目的として文化庁の日本語教育スタートアッププログラム事業助成を活用して、多文化共生の拠点となる日本語教室の開設を目指し、日本語教育の専門家をアドバイザー、コーディネーターに迎え、平成29年10月より開催予定の「東区くらしのにほんごクラブ」の調査、準備を行いました。(なお、アドバイザー、コーディネーター経費は文化庁側より各アドバイザー、コーディネーターへ直接支払われました。)

期 間: 平成28年10月11日(火)~平成29年3月20日(月)

内 容:・熊本県内外の日本語教室調査

- · 県外は岡山県総社市 · 京都府亀岡市
- ·調査分析
- ・教材(オリエンテーションビデオ)の作成
- ・ 教材の作成 (熊本県立大学)
- ・人材養成プログラムの検討
- ・日本語教室の内容、会場の検討

アドバイザー

土井 佳彦氏(多文化共生リソースセンター東海)

近藤 徳明氏(京都府国際センター)

コーディネーター

道本 ゆう子氏(熊本県立大学 大学院生・日本語教師)

泉 千草氏(日本語教師)

定永 祐子氏(熊本大学グローバル教育カレッジ日本語日本文化センター非常勤講師)

馬場 良二氏(熊本県立大学·教授)

高橋 進之介氏(熊本大学大学院先導機構HIGOプログラム 特任助教)

⑥ 熊本県立大学と連携協力での生活者としての外国人のための日本語教材開発

熊本県立大学学生GP(地域連携型卒業研究)と連携を図り、生活者としての外国人のための日本語教材開発を行いました。

次の4つのテーマで開発した。成果は、平成29年度にKIFのホームページへ公開予定

- ・やさしい日本語で伝えよう編
- 地震編
- ・観光復興(ホームステイ)編
- ・多文化共生社会づくり

連携先:熊本県立大学文学部日本語・日本文学科日本語教育研究室

※なお、熊本地震での外国人被災者支援を目的に次の機関と共同調査を実施しました。 (平成28年8月17日(水)~21日(日))

熊本大学大学院HIGOプログラム

大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府

(3) 外国人のための防災事業

① 外国人のための防災訓練

熊本地震の後、留学生や日本人の配偶者等多くの在住外国人から母国で地震の経験がないため、「地震がどのようなもの」「どのように行動すればよいのかわからなかった」という声が多く聞かれたため、地震のメカニズムや取るべき行動、防災対策や日本における避難所利用のあり方などを学んでもらうセミナーを実施しました。

●地震セミナー"熊本地震から学ぼう!"

日 時: 平成28年7月16日(土) 13:30~16:30

場 所:国際交流会館 2 F 交流ラウンジ 参加人数:延べ80人(日本人参加者含む)

講 師:市居 嗣之氏(一般社団法人日本イスラエイド・サポート・プログラム)

内 容:地震体験談発表

地震のメカニズムとその他の災害について

地震の際の行動及びケーススタディ

日頃からの備え

●外国人のための防災訓練

日 時:平成29年2月18日(土) 11:30~15:00

場 所:国際交流会館 6Fホール

参加人数:34人(6力国)

中国、韓国、インドネシア、マレーシア、シンガポールなどの留学生、技能実習生等

講師:羽賀 友信氏(KIF多文化共生アドバイザー)

② 外国人のための防災ラジオ放送や防災カードの配布

熊本地震時に熊本シティエフエムで、在住外国人に熊本市国際交流会館が避難所であることや様々な相談ができることなどを周知する特別放送を行いました。また5月以降は多言語(英語、中国語、韓国語、夕ガログ語)による防災情報を定期的に放送しました。また在住外国人コミュニティーの集会や日本語学習者などに防災カードの配布を行いました。

③ 災害メール

生活情報メールマガジンの配信システムを活用した災害情報・生活情報の配信に努めました。熊本地震時に地震規模に関する情報、熊本市国際交流会館が避難所として利用できる案内及び外国人被災者のための相談会開催案内等を日本語・中国語・英語の各言語で配信しました。また、台風情報(台風12号、16号、18号)や大雨警報、非難準備情報等の情報を配信しました。

④ 外国人避難対応施設の設置・運営

熊本市からの要請により、4月15日(金)、4月16日(土)~30日(土)の期間、避難対応施設としての管理・運営を行いました。

⑤ 災害多言語支援センター運営事業

4月20日から多文化共生マネージャー全国協議会及び九州地区地域国際化協会連絡協議会の協力を得て、熊本地震で被災した外国人支援の為に、多言語災害情報(英語、



中国語、韓国語、やさしい日本語)の提供及び避難所巡回による外国人被災者の安否確認と支援情報提供を行いました。更に、被災した外国人を対象に、被災後の生活支援として、相談会の開催、10月には、在住外国人被災者支援活動の検証をもとに、今後の多文化共生社会のあり方を考える報告会を開催しました。

避難所巡回件数:約50か所 多言語災害情報提供数:81件

協力者数:多文化共生マネージャー全国協議会 延べ131人

地域国際化協会 延べ58人

外国人被災者支援を目的にくまもと外国人被災者支援基金を立ちあげました。生活相 談会などを本基会で開催しました。

寄付金総額:2,055,554円 36件

●外国人被災者のための生活相談会

日 時: ①平成28年5月1日(日) 11:00~14:00

②平成28年5月8日(日)10:00~14:00

③平成28年5月31日(火)11:00~14:00

④平成28年6月12日(日)11:00~14:00

場 所:①国際交流会館 1 F リンクカフェ

②国際交流会館 2F交流ラウンジ

③熊本大学グローバル教育カレッジ棟

④国際交流会館 2F交流ラウンジ

参加人数:①80人程度(22組) 相談件数:延べ48件

②120人程度相談件数:延べ50件③9人程度(5組)相談件数:延べ5件

④2人 相談件数:延べ4件

相談内容及び相談員:

行政サービスに関すること 井上 明彦氏(熊本市職員)

在留資格に関すること 中島 眞一郎氏、坂井 一雄氏、児玉 幸則氏、

真重 正仁氏(行政書士)

メンタルケア ビン アルバ氏 (フィリピン人カウンセラー)

ビゼィ ゲワリ氏 (イスラエイド心理カウンセラー)

加藤 理人氏(聖心病院 臨床心理士)

廣瀬 寧子氏(熊本大学附属病院 臨床心理士)

阿部 裕氏(四谷ゆいクリニック院長)

●熊本地震!外国人被災者支援報告会

日 時:平成28年10月10日(月·祝日)

13:00~16:00

場 所:国際交流会館 4F第3会議室

参加人数:80人

内 容:外国人被災者体験談

発表者 ディヌーシャ・ランブクピティヤ氏 (スリランカ出身)

発表者 モハマド・サミール氏 (パキスタン出身)





シンポジウム

テーマ(1)避難所支援

発表者:中島 眞一郎氏

(コムスタカ外国人と共に生きる会代表)

ファシリテーター 羽賀 友信氏(KIFアドバイザー)

テーマ②情報の多言語化

発表者: 土井 佳彦氏、山浦 育子氏

(多文化共生マネージャー)

ファシリテーター 塚本 俊也氏(大阪大学大学院特任教授)

テーマ③メンタルケア

発表者:ビゼィ ゲワリ氏

(イスラエイド心理カウンセラー)

ディスカッション

登壇者:羽賀 友信氏、塚本 俊也氏 総合コーディネーター 田村 太郎氏

(多文化共生マネージャー全国協議会代表理事)

情報交換会

⑥ 熊本地震外国人被災者支援活動報告書の発行

熊本地震の活動記録をまとめた報告書を配布しました。

·2016年熊本地震外国人被災者支援活動報告書 第1版 多文化共生社会のあり方 ~未来へ、つながりの大切さ~

(平成28年10月10日発行)

・2016年熊本地震外国人被災者支援活動報告書 第2版 多文化共生社会のあり方 ~発災から半年、動き出したこと~ (平成29年1月29日発行)

●熊本地震・文化復興ニューイヤーコンサート

日 時:平成29年1月7日(土) 13:30~17:00

場 所:国際交流会館 1 F リンクカフェ

参加人数:延べ80人(立ち見含む)

内 容:第1部 ニューイヤーコンサート



オペラ ソプラノ 飯田 美奈子氏(東京二期会・多文化WS)

ピアノ 多田 秀子氏(武庫川女子大学音楽学部准教授)

二胡演奏 苗田 鉄雄氏(中国出身)

インド舞踊 チト ラガ ガヤ サントシー二氏

第2部 復興トーク ~これからの熊本~

两村 美芳氏(熊本繊維工業協同組合事務局長·中国上海出身)

ラジュ アエドラ氏(熊本大学留学生・インド出身)

毛利 聖一氏(熊本日日新聞編集委員:論説委員)

金 千秋氏 (FMわいわい代表理事・神戸)

八木 浩光 (KIFスタッフ)

山地 久美子氏(多文化WS·大阪府立大学客員研究員·神戸)

第3部 外国人生活相談会

※対象者がいなかったため、実施しなかった。

●講演活動

熊本地震を体験し、全国の地域国際化協会及び多様な機関より、地震の体験を踏まえたテーマでの講演依頼があり対応しました。派遣件数:32件

7.1	7 (000		1 × . 0 = 11
	日にち	依頼者	内 容
1	7月3日	コムスタカ〜外国人と共に生きる会〜	外国人支援の取り組み
2	7月8日	(公財)沖縄県国際交流·人材育成財団	熊本地震の教訓から 〜多言語支援の現状と課題〜
3	8月7日	(公財)和歌山県国際交流協会	熊本地震における外国人支援から何を学ぶのか
4	8月30日	(公財)大阪府国際交流財団	災害時外国人支援について考える 〜熊本地震における実績と課題〜
5	9月17日	京都大学大学院人間健康科学系専攻	「フレイルと多職種連携研究会」での 熊本地震時の外国人支援の状況について
6	9月29日~ 30日	(一財)自治体国際化協会	熊本地震における外国人被災者支援
7	10月18日	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 /被災者支援レジーム	外国人支援と防災・減災への取り組み
8	10月22日	(公財)秋田県国際交流協会	通訳・翻訳ボランティア登録者に対する 研修会での講師(災害時の活動について)
9	10月23日	(公財)福岡よかトピア国際交流財団	外国人支援の取り組み
10	10月25日~ 26日	九州地区地域国際化協会連絡協議会	外国人の被災状況及び支援状況
11	10月28日	中国·四国地区地域国際化協会連絡協議会	熊本地震における外国人被災者支援
12	11月5日	(公財) 沖縄県国際交流·人材育成財団	国際交流・協力ボランティア避難所 運営訓練におけるアドバイス
13	11月15日	(公財)鹿児島県国際交流協会	熊本地震における熊本市国際交流会館 の取り組みでの実績と課題
14	11月30日~ 12月1日	全国市町村国際文化研修所(JIAM)	熊本地震での外国人支援活動から見え てきた多文化共生社会とは
15	12月7日	(公財)愛媛県国際交流協会	災害時の外国人支援に関する講演
16	12月10日	佐賀市国際交流協会	ボランティア研修講師
17	12月16日	(公財)鹿児島市国際交流財団	災害時の外国人対応について
18	12月20日	アジア防災センター	熊本地震時の外国人対応
19	1月7日	多文化共生を育むワークショップ	復興音楽力フェで行う復興トークのパネラー
20	1月17日	全国市町村国際文化研修所(JIAM)	多文化共生マネージャー養成講座後期研修
21	1月29日	KEQP 調査報告会	熊本地震プロジェクト共同成果発表会
22	1月31日	熊本市居住支援協議会	外国人対応について
23	2月4日	熊本県立八代高校	地震に関する意見交換(高校生と留学生会)
24	2月9日	全国市町村国際文化研修所(JIAM) 多文化共生マネージャー全国協議会	多文化共生マネージャースキルアップ講座
25	2月11日	東京都国際交流委員会	熊本地震に学ぶ多文化共生とは…
26	2月17日	(一財)自治体国際化協会	外国人コミュニティ全国会議における 熊本地震の報告及び会議ファシリテート
27	2月19日	滋賀県甲賀市国際交流協会	災害時外国人支援活動等について
28	2月21日	(一財)岡山県国際交流協会	熊本地震の話
29	2月25日	(公財)北九州国際交流協会	熊本地震から学ぶ 外国人被災者支援とボランティアの役割
30	2月25日	コンソーシアムひょうご神戸	外国人支援状況及びパネルディスカッション
31	3月2日	熊本県国際協会	熊本地震での取り組みや課題等について
32	3月25日	(公財)福岡県国際交流センター	熊本地震の災害ボランティアについて

(4) 外国籍の子どもの教育支援事業

① 進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや両親が国際結婚などで来日した外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについ

て詳しく説明をする進路ガイダンスを実施しました。 日 時:平成28年7月10日(日)13:30~16:30

場 所:熊本県立大学1号館(1号室・11号室)

参加人数:107人

(中学生21人、保護者20人、小中高教師21人、先輩高校生10人、通訳8人、県教委1人、大学生ボランティア10人、スタッフ16人)

参加費:無料



② 外国籍児童のための教育サポート

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童に対し、先輩高校生及び支援者が集まり、日本語の補講や生活相談等も行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。 教育相談 5件

おるがったステーション

日 時:毎週日曜日 10:00~12:00 (中学生)、14:00~16:00 (小学生)

場 所:国際交流会館 5 F 和室他

参加人数:延べ961人

(日本、中国、台湾、ベトナム、キルギス、シンガポール、アメリカ、パキスタン、フィリピン等)

③ 連携事業:黒髪小学校・桜山中学校日本語センター校との連携

熊本市内にある日本語指導のセンター校と連携し、異文化的背景を持つ方々へ、学校教育、行事等々の説明に対し、協力を行いました。その他、熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会において、各地域で外国ルーツの子どもたちが学校でどのようなことに悩み、戸惑い、どこで授業につまずくのか、生活言語と教育言語の違いなどわかりやすく理解する研修会を開催しました。他、在日外国人生徒交流会へ活動費の一部を助成しました。

黒髪小学校日本語センター校閉校式

平成29年 2月27日(月)熊本市立黒髪小学校

外国ルーツの子ども支援研修会 · 平成28年6月5日(日) 13:00~16:30

天草市民センター 展示ホール

· 平成28年9月24日(土) 13:00~16:30

熊本市国際交流会館

· 平成28年12月10日(土) 13:00~16:30

人吉市東間コミュニティセンター

在日外国人生徒交流会 平成29年3月25日(土)・26日(日)

熊本YMCA帯山校、青年会館